

釧路南ロータリークラブ会報

第15回 例会報告 2013.10.18 通算1510回

・点 鐘 佐藤玄史会長

・ロータリーソング

「それこそロータリー」

ソングリーダー 奈良 清成会員

・会長挨拶



こんにちは、地区大会も無事に終わりました。会員皆様のご協力ありがとうございました。地元釧路の大会ということでしたが、葎本ガバナーが急病ということで欠席での地区大会となり今までの大会としては、異例の大会でした。櫻田パストガバナーが代理で進行、釧路ベイ RC のスタッフの奮闘は見事でした。ホストクラブの釧路ベイ RC に感謝です。今日のプログラムで地区大会の詳細は改めて報告いたします。

・幹事報告 上川原副幹事



- *先月の9月4日、釧路市教育委員会より釧路東 RC へ依頼があり、行政区分の関係で店舗・事務所が釧路市内の場合のみで「こども 110 番の店」ステッカー掲示のお願いを、ロータリー合同事務所に FAX 返信させていただきました件で、三浦さんより5クラブで63の事務所・店舗が集まり今後、教育委員会より各事業所へ対応があるかと思いますと報告を受けています。
- * 釧路北 RAC より9月例会報告を拝受しております。
- * 本日は、今月第3例会ですので例会終了後、理事会を開きたいと思っておりますので、理事・役員の皆様宜しくお願い致します。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

福井 克美会員 ロータリー財団地区奉仕賞を受賞しました

出席委員会 上川原副幹事

会員 25 名 9 名出席 出席率 36%

メーキャップ 5 3 名 修正出席率 248%

・本日のプログラム

「 地区大会参加報告 」

担当 会長・幹事

●佐藤 玄史会長



地区大会報告

地区大会は地元釧路で11～13日(日)3日間の予定で開催されました。11日初日はあいにくの雨模様でしたが記念ゴルフ大会、パークゴルフ大会午後からはRI会長代理、地区役員、会長幹事懇談会、RI会長代理ご夫婦歓迎会晩餐会、会長、幹事、福井委員長の参加でした。2日目は、本会議初日で一連のセレモニーを終え、お客さんの紹介、参加クラブの紹介、午後の部で会場をホテルにうつし、RI現況報告を井上RI会長代理が報告、数字では、地区は、532地区34,644クラブ、1,208,660人と報告されております。他財政報告、世界平和フォーラムの開催、アンケート「2012年」一位「地元での奉仕活動」「友情と親睦」入会動機ということです。最後に今年度の国際大会は2014年6月1日より4日オーストラリアシドニーで開催されます。多くの参加をお願いします。で報告がされています。ついで各種表彰でまず、RI特別表彰、会員増強、拡大賞「増加率20%」で南ロータリークラブ、ガバナー補佐感謝状を長江さん、ロータリー財団地区奉仕賞に福井さんがそれぞれ表彰されました。エクスカージョンは9時に出発、厚岸、釧路の観光50数名2台のバスで、工藤ゆかりさん、長倉さん、佐野さん、木内さん、上川原さんでバスガイドで無事4時ころ会場にもどられました。この報告も時間がありませんでしたら報告をしていただきます。大会2日目、最後に地区大会の

大切な懇親会が開催され、釧路の海産物でおもてなしがされ、大変良い料理でした。それぞれ2次会へと末広の街へむかいました。大会3日目は午前中で一般市民の参加で記念講演「野生動物との共生をめざして」希少猛禽類の道東における生体状況を中心に専門家の立場で講演がなされそれぞれ興味深く聞き入っていました。晩餐会は、「釧路吹奏楽団」、本会議昼食休憩時「釧路明輝高等学校吹奏楽部」、記念懇親会「ザ・ブラックビートルズ」でそれぞれアトラクションでもてなしがされました。以上地区大会の報告になりましたが、感想としては、会議の流れとして十分の大成功であったと思います。とくに、ガバナーの欠席の中でベイRCのスタッフがすばらしい大会にされたと思います。あらためて拍手を送ります。 以上



RI 特別表彰

●佐藤 了幹事 (上川原副幹事代読)



地区大会 報告

2013-2014 年度、国際ロータリー第 2500 地区大会が 10 月 12 日金曜日、午前 8 時スタートの記念ゴルフコンペで大会 1 日目が始まりました。ゴルフ場は全国屈指の名門釧路カントリー鶴居コースで、参加人数 53 名が東・西コースに分かれスタートしました。朝から結構な雨の中、ゴルフコンペは雨天決行と言う事で 18 ホールカップインまで死闘？が繰り広げられた事と思います。午後 1 時スタートのパークゴルフは早々、中止と成りました。ゴルフをやられる方はわかると思いますが、雨や暑さなど自然と自分との戦いがある中、何との中で当、釧路南ロータリークラブの長倉 巨樹彦（みきひこ）会員が西コースでアウト 44・イン 44 で見事優勝されました。表彰式は大会 2 日目の記念懇親会で登壇の上トロフィーを授与されました。表彰式の長倉会員の鼻が 5 センチほど高かったのを私は見ました、何故なら、コンペ数日前の雑談で当日雨らしいとの話に、雨の日は飛距離のあるゴルファーが有利との事で、まさに有言実行本当見事です。そして東コースの優勝者は前年度 5 月 25 日、合同例会を行いました釧路東 RC の佐藤 公俊（きみとし）前会長でした、おめでとうございます。大会 1 日目の内容は午後 1 時から 6 時まで釧路市観光国際交流センターに於いて、福井 V T T チームリーダー出席の委員会もある、地区諮問委員会・ガバナー補佐会議・地区大会特別委員会・地区財務委員会と続き、佐藤玄史会長・佐藤幹事は午後 3 時から 4 時 30 分の地区指導者育成セミナーと午後 4 時 40 分から 5 時 30 分の R I 会長代理・地区役員・会長・幹事懇談会から出席しました。初め、早めに会場入りした私が聞いた各クラブ会員の情報では、葎本ガバナーが吐血し緊急入院したため本日は欠席との話でした、先日の 10 月 4 日当クラブへのガバナー公式訪問で私は気付きませんでした。地区大会欠席は、ガバナー本人が一番悔しいと思います。

会長・幹事出席の地区指導者育成セミナーでは、初めに本日のデモレーター、小船井修一 A R C より大会第 1 日目、葎本ガバナーの病気欠席の報告があり、皆でカバーして行きましようとの言葉がありました。セミナーは「奉仕の実践からロータリーの活性化」をテーマに第 1 セクションではタイから第 3330 地区の「サングアン・D G 氏」が「100 万本のロータリーの水支援事業」と「タイ R I 第 3330 地区の会員増強とクラブ拡大」に付いて、大型スクリーンに翻訳されましたが英語で話されました。2011 年タイ洪水被災地へ、R I 第 2500 地区はじめ日本各地のロータリーから物心両面の支援と変わらぬ友情に感謝しますと終わりました。

第 2 セクションは小船井修一 A R C による「日本での支援拡大」また第 3 セクションでは笹谷芳夫ロータリー財団副委員長による「福島原発被災地への支援“水からプロジェクト”」のテーマで講話され、井上暎夫（ひでお）R I 会長代理の講評で終了しました。R I 会長代理・地区役員・会長・幹事懇談会は櫻田直前会長の点鐘・国歌斉唱で始まり柴田・櫻田・足立パストガバナーの出席の元地区の委員会報告が各委員長より発表され点鐘で終了しました。そのあと会長・幹事・福井 V T T チームリーダーで懇親会に出席しました。

大会 2 日目は午前 9 時受付点鐘から午後 7 時 30 分の記念懇親会終了まで、当クラブ会員の多数参加のもと本会議に出席しました。会長と重複しますので第 2 日目は省かせていただきますが、コホストとしてエクスカッション参加の長倉・木内・佐野・工藤・上川原各会員、大変お疲れさまでした。私事、第 3 日目は体調不良で欠席しました。お詫びを兼ねまして地区大会の報告と致します。 以上

●福井 克美地区 VTT チームリーダー



「RI2500 地区指導者育成セミナー」を終えて
10月11日(金)15時～16時30分 国際交流センターに於いて、「RI2500 地区指導者セミナー」が開催された。会長・幹事、地区委員長等が参加した。ガバナー挨拶は、葭本ガバナーの代わりに小船井地区研修リーダーが代理を務め進行した。

テーマは、「奉仕の実践からロータリーの活性化」
で三つセッションに分かれている。

第一セッション 第 3330 地区のサングアン・クナ
ポンガバナー

「100 万本のロータリーの水支援事業」と「タイ第
3330 地区の会員増強とクラブ拡大」について講話し
た。2011 年、タイのバンコク等が記録的な洪水に見
舞われ、ピチャイ・ラタクル元 RI 会長が、タイの
ロータリアンに対して 100 万本のペットボトルを送
る計画を立てた。40 万本は手立てがしたが、60
万本の資金が不足して、日本のロータリアンに協力
要請した。このような活発な奉仕活動が話題を呼び、
タイ国内でのロータリアンの会員増強に繋がった。

第二セッション 小船井地区研修リーダー ARC、
DRFC

ラタクルさんが RI 会長だった 2002-03 年に同期だ
ったガバナーで作っているラタクル会が、2011-12
のガバナー会に呼びかけて、国内から義援金を集め
てお金以外に米や毛布、衣料品も届けることが出来
た。義援金の総額は、4,286 万 3,182 円になった。

第三セッション 笹谷芳夫 R 財団副委員長

新たなるひろがり「福島原発被災地への支援“水か
らプロジェクト”」というタイトルで、第 2670 地区
世界社会奉仕委員長の森本奈津子さんの活動を紹
介した。前年度には、東日本大震災の被災地に「鎮
魂と希望の鐘」建立と、ピアノを寄贈する活動を実
践していた。

今回は、福島県の市町村で、福島第一原発事故によ
り飲料水の汚染が心配され不安を抱えていること
を知った。四国は環境省選定名水に選ばれるほどの
水であったから、地区から水を贈る方法を模索し、
小船井 ARC と笹谷さんにアドバイスを頂いた。5 月
には摩周湖の水を福島に届けた。今年度は四万十の
水を贈る計画を進めている。

講評 井上瑛夫 RI 会長代理

世界では、クラブ数と会員数が増えている。増加し
た国は、ブラジル、インド、ドイツで、減少した国
は、日本、アメリカ、韓国、オーストラリア、イタ
リア、イギリス等である。RI 理事会では、2015 年 6
月末までに世界のロータリアン数を 10 万人増やし
て 130 万人に達する目標を決めた。

2500 地区と第 2670 地区で行っている「水からプロ
ジェクト」は、考えたことをすぐに実行したことが
高い評価を頂いています。



・次回のプログラム

10月25日(金)

「米山記念奨学会月間によせて」

会場 釧路東急イン

担当：ロータリー財団米山委員会

・点 鐘 佐藤玄史会長

今週の会報担当：福井克美会員